

【シラバス】

講座 テーマ	肢体不自由児のリハビリと口腔保健		担当者	石井 里加子 (九州看護福祉大学)
講座の到達目標及びテーマ：				
<p>テーマ：肢体不自由児における歯と口の健康づくり</p> <p>目 標：障がい児における口腔保健の重要性を理解し、具体的な歯と口の健康づくりの方法について考察することができる。</p>				
講座の概要：				
<p>障がい児におけるう蝕や歯周病の罹患・進行は、歯の喪失や摂食嚥下障害だけでなく、パニックや体重の減少など二次障害の誘因となり、QOL（生命・生活・人生）を著しく損なう可能性がある。</p> <p>本講習では、具体的な歯と口の健康づくりの方法として、特にホームケア（セルフケアと介助者によるケア）に重点をおき解説する。そして、各教員が置かれている環境下で、どのように口腔保健に取り組んでいけるか考えていきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障がい児者の口腔保健の現状と予防の重要性について 2. 具体的な歯と口の健康づくりの方法について <ol style="list-style-type: none"> ①ホームケア（セルフケア，介助者によるケア） ②プロフェッショナルケア ③コミュニティケア 3. ホームケアの実際 <ol style="list-style-type: none"> ①セルフケアの支援方法 ②介助者によるケア方法 4. 質疑応答 				
形 態	講義＋簡単なデモンストレーション			
テキスト	当日、資料を配布する	試験方法	筆記試験	
評価：				
修了認定のための筆記試験（50点満点）、講習時間内に30分程度で実施する。				
講座受講希望者への事前連絡：				
<ol style="list-style-type: none"> ①普段使用している歯ブラシ <ul style="list-style-type: none"> ※歯ブラシの特徴について解説します。 ②普段使用している歯みがきペースト（任意） <ul style="list-style-type: none"> ※成分について解説するため、成分表示部分の画像（写真）でも可。 				

【シラバス】

講座 テーマ	肢体不自由児のリハビリと口腔保健	担当者	吉田 勇一 (九州看護福祉大学)	
講座の到達目標及びテーマ：				
<p>テーマ：理学療法を中心とした肢体不自由児のリハビリテーションについて</p> <p>目 標：各疾患に関するリハビリテーションについて理解する</p>				
<p>講座の概要：神経系や整形の疾患が原因となり、日常生活に多くの問題が生じることになる。本講習では、その解決策のひとつとなる肢体不自由児のリハビリテーション、特に理学療法について考える。理学療法実施にあたり必要となる基礎知識を含めて、脳性麻痺・デュシェンヌ型筋ジストロフィー・二分脊椎・ペルテス病などに関するリハビリテーションについて解説する。</p>				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 肢体不自由児に共通する特徴 2. 姿勢、動作の観察方法 3. 正常運動発達（0 ヶ月～12 ヶ月まで） 4. 神経系疾患の理解（末梢神経と中枢神経） 5. 各疾患の特徴とリハビリテーション <ul style="list-style-type: none"> ・脳性麻痺 ・デュシェンヌ型筋ジストロフィー ・二分脊椎 ・ペルテス病 6. 質疑応答 				
形 態	講義			
テキスト	当日、資料を配布する	試験方法	筆記試験	
<p>評価：</p> <p>修了認定のための筆記試験（50 点満点）、講習時間内に 30 分程度で実施する。</p>				
講座受講希望者への事前連絡：				